

科目

工業技術基礎

教科	工業	学科・学年	建築工学科 ・ 1 年	単位数	3
教科書	工業技術基礎 (実教出版)				
副教材	新版 建築実習 1・2 (実教出版)、その他担当教員が配布するプリント				

どんな科目？

工業の各分野を建築の科目と総合的、体系的に関連付けながら、各理論、技術を実験実習によって確かめるとともに技法や技能についても模擬的、体験的に理解する。

学習の到達目標

デザイン部門では建築に特化した図案や点景の模写など、木材加工部門では技能検定課題の製作、材料部門では木材料の強度実験など、模型制作部門では住宅の軸組模型制作を行うことで、建築専門分野に必要な基礎的な知識、技術、態度などを身につけます。

学習の計画及び評価方法

	月	学習内容	学習のねらい・目標	評価の観点		
				知	思	主
1 学期	4	◇透視図の着彩・色彩学部門	・色彩の原理を理解し、点景物の着彩に応用することができる。 ・工具の基本使用方法よく理解し、安全に使用できる。 ・木材の性質について理解する。 ・図面から技能検定試験課題を完成させる。	○		○
	5	・色彩構成の練習				
	6	・点景物の着彩実習				
	7	・建築点景の模写				
2 学期	9	◇木材加工部門	・工具の使用方法及び安全使用 ・木材の性質 ・技能検定試験課題の製作	○		
	10	・工具の使用方法及び安全使用				
	11	・木材の性質				
	12	・技能検定試験課題の製作				
3 学期	1	◇建築材料部門	・機械使用上の安全が理解でき、道具の使い方が分かる ・木材料の強度を理解し、試験結果の意味が分かる。		○	
	2	・安全教育				
	3	・セメントの性質				
	4	・モルタル比重測定				
3 学期	1	・モルタル製作・強度試験	・与えられた建築図面を読み取り、模型を完成させる。	○		
	2	・木材圧縮試験				
	3	◇模型制作部門				
	4	・道具の使用方法・材料の性質				

評価の方法

各実習における下記の内容を総合的に判断します。

- ・実習への参加の仕方や態度。
- ・質問等に対する発表の内容、作品内容・完成度、レポートの内容。

科目

工業情報数理

教科	工業	学科・学年	建築工学科 ・ 1 年	単位数	2
教科書	工業情報数理（実教出版）				
副教材	配布プリント・問題集等				

どんな科目？

社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解し、情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得し、情報及び情報手段を活用する能力を身に付ける科目です。

学習の到達目標

講義でコンピュータに関する基礎的な知識を学習し、実際にコンピュータの操作を通してコンピュータの操作方法や各種ソフトウェアの基礎的な技術を習得することを目標とします。

学習の計画及び評価方法等

	月	学習内容	学習のねらい・目標	評価の観点		
				知	思	主
1 学期	4	・コンピュータの構成と特徴	・コンピュータの構成と特徴を知る。			○
	5	・情報化の進展と産業社会	・コンピュータの持つ影の側面とその対応を理解し、情報社会におけるモラルと情報の管理について理解する。		○	
	6	・情報のセキュリティ管理	・コンピュータ内部の基本回路、周辺装置について理解する。	○		
	7	・処理装置の構成と動作	・コンピュータの基本操作を理解する。		○	
2 学期		・ソフトウェアの基礎とアプリケーションソフトウェア	・オペレーションソフトとアプリケーションソフトの役割を理解する。	○		
	9	・データの表し方	・コンピュータが2進数で動いていることを理解し、人間が使用している10進数、その仲立ちの16進数との相互変換ができる。	○		
	10	・コンピュータネットワークとマルチメディア	・コンピュータネットワークやマルチメディアの身近な活用例を参考にその仕組みについて理解する。		○	
	11	・日本語ワードプロセッサソフトウェア	・さまざまなソフトウェアの目的・特徴を理解し、基本的な操作方法を身につける。			○
	12	・表計算ソフトウェア			○	
3 学期		・文書の電子化				
	1	・プレゼンテーション	・引き続き、さまざまなソフトウェアの目的・特徴を理解し、基本的な操作方法を身につける。			○
	2	・プレゼンテーション支援ソフトウェア				
	3	・CADソフトウェア				

評価の方法

評価は次のものを対象とします。

定期考査・課題テスト・学習状況（出席状況、授業態度、参加意識等）・提出物（ノート、プリント等）です。

1年間の評価は、上記内容を総合的に判断します。

科目

課題研究

教科	工業	学科・学年	建築工学科 ・ 3 年	単位数	3
教科書					
副教材	担当教員が配布するプリント				

「課題研究」はどんな科目？

建築に関する総合的なテーマを主体的に選び適宜内容を深めながら調査・研究・制作し、プレゼンテーション能力を養う。

「課題研究」の学習の特徴・特色は？

各自で設定している研究テーマに個人・グループにて取り組みます。テーマ毎に担当の教師が付き指導に当たります。

学習の計画

	月	学習内容（単元名）	学習の到達目標
1 学期	4	◇個人・グループで研究・制作 (1) 共同研究者編成、テーマ調査	・ できる限りの情報を集め、自分に最も合うテーマを選定する。能力を養う。
	5		
	6		
	7		
2 学期	9	(2) テーマ決定、調査・研究開始	・ 役割を分担し合って調査・研究、製作作業を進め、研究を深める。
	10		
	11		
	12		
3 学期	1	(3) 最終報告発表・審査会 ● 2月下旬にOBを招待し発表会を開催する	・ 発表のためのプレゼンテーション方法を深める。
	2		

評価の方法

- | | |
|-----------|------------------------|
| ①関心・意欲・態度 | : テーマ決定への参加の仕方や取り組み態度 |
| ②思考・判断 | : 創造的な作業、作品内容 |
| ③技能・表現 | : 作品の内容・完成度・レポート、発表会成果 |
| ④知識・理解 | : 論文の考察、発表 |